占星術を少しでも学んだ者は、魔術の一部を学んだのだ。（一方の学びを）増せば、（もう一方の学びも）更に増すのである。

イブン・アッバース（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「占星術を少しでも学んだ者は、
魔術の一部を学んだのだ。（一方の学びを）増せば、（もう一方の学びも）更に増すのである。」 [真正] [イブン・マージャの伝承 - アブー・ダーウードの伝承 - アハマドの伝承]

不可知の事象は、アッラーのみが専有する領域であることから、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はその秘密に足を踏み入れようとするあらゆる試みを、無効なものとした。天界の状況によって地上での出来事を推測する占星術も、その一つである。預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は、占星術を学ぶことを魔術の一種とした。そしてそれを学べば学ぶほど、魔術への学びを増すことにつながるとしたのである。

http://sunnah.global/hadeeth/ja/show/5989